



平成 26 年 5 月 7 日

各 位

会 社 名： 富士石油株式会社  
代表者名： 取締役社長 関屋 文雄  
(コード番号:5017 東証第一部)  
問合せ先： 総務部 IR・広報グループ 岩本 巧  
TEL: (03)5462-7803  
(URL <http://www.foc.co.jp>)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 2 月 7 日に公表した平成 26 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期通期 連結業績予想(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	703,000	△3,000	△4,200	△4,900	△63.46
今回修正予想(B)	703,000	△7,800	△10,100	△11,900	△154.42
増減額(B-A)	0	△4,800	△5,900	△7,000	
増減率(%)	0.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	780,028	1,548	3,277	△13,025	△168.69

#### 2. 修正の理由

前回の予想は、第 4 四半期平均の原油価格(ドバイ原油)を 105ドル/バレル、為替レートを 105 円/ドルの前提で策定いたしましたが、同期間のそれぞれの実績は 104.45ドル/バレル、102.77 円/ドルとなり、円建ではドバイ原油価格は予想を下回りました。

売上高につきましては、販売数量は微増となったものの、市況低迷に伴い販売価格が予想を下回ったこと等により、前回予想から変更はありません。

営業損益につきましては、予想よりも市況が低迷したこと、低価法に基づく棚卸資産の評価損が発生したこと等により 78 億円の損失(前回予想比 48 億円の減益)となる見込みです。経常損益につきましては営業損益の悪化に加え、外貨建資産に係る為替差益の減少等により 101 億円の損失(同 59 億円の減益)、当期純損益につきましては、さらに繰延税金資産の一部取崩し等も加わり、119 億円(同 70 億円の減益)の損失となる見通しです。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上